

第6回 燈花と芸術の森作品展

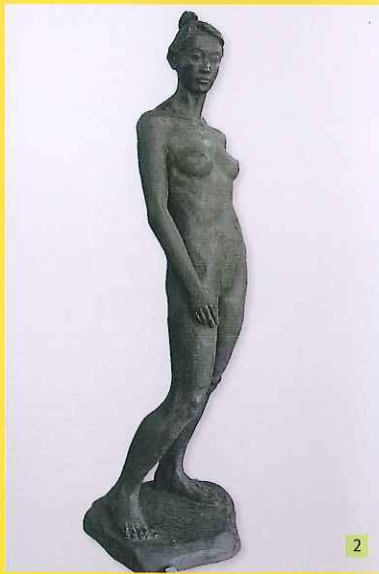
平成25年
8月6日(火)-8月14日(水)



45



1



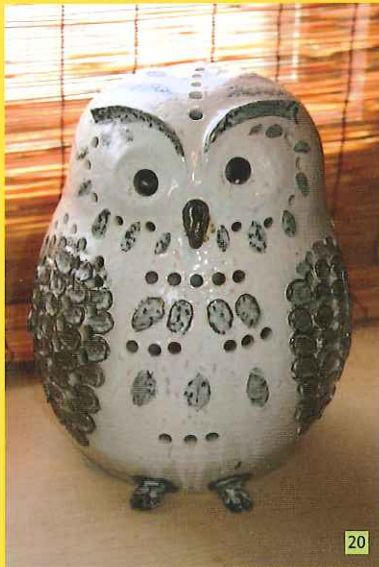
2



3



4



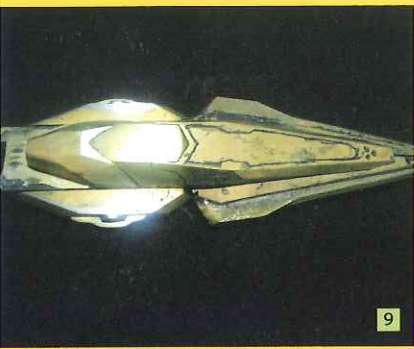
20



16



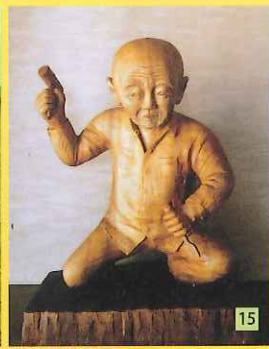
6



9



7



15



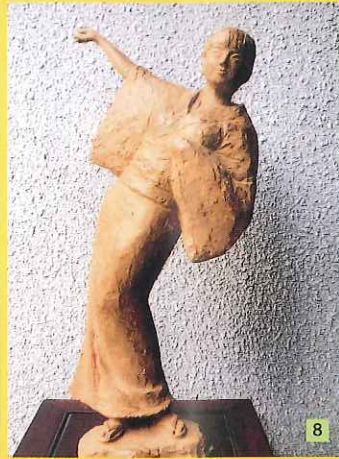
15



5



5



8



10



11



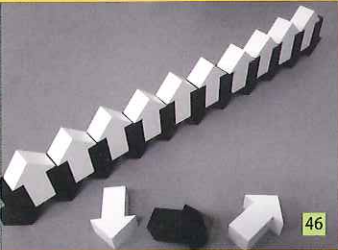
19



16



18



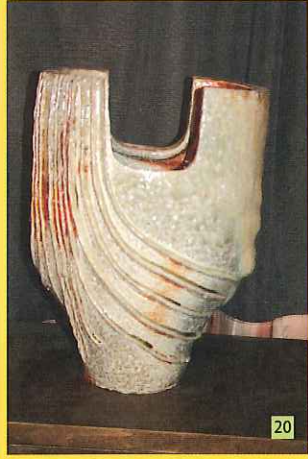
46



14



17



20



21

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 瀬井 徳司 | 14. 坂本 佳子 |
| 2. 高砂 晴光 | 15. 中島 清 |
| 3. 石増 敏枝 | 16. 和田 信隆 |
| 4. 岡村 三郎 | 17. 岡 俊三 |
| 5. 田村 晴江 | 18. 宮奥 久吉 |
| 6. 岩谷 誠久 | 19. 藤崎 洋子 |
| 7. 木村 光治 | 20. 稲垣 知津 |
| 8. 吉山 絹代 | 21. 磯野 裕美 |
| 9. 出原 幸也 | 22. 中嶋 光 |
| 10. 辰巳 義男 | 23. 福島 知 |
| 11. 笠井 文夫 | 24. 西田 瑞代 (奈良芸術短期大学) |
| 12. 福呂 当起 | 25. 飯田 直樹 (奈良芸術短期大学) |
| 13. 清水 健二 | 26. 中村 明子 (奈良芸術短期大学) |



23



22



24



25



26

- | | |
|-------------------------|---|
| 27. 深町 怜央 (奈良県立高円高等学校) | 38. 遮那 礼菜 (奈良県立高円高等学校) |
| 28. 阪口 安奈 (奈良県立高円高等学校) | 39. 大西 真由 (奈良県立高円高等学校) |
| 29. 稲葉 さやか (奈良県立高円高等学校) | 40. 坂下 佳子 (奈良県立高円高等学校) |
| 30. 竹田美桜里 (奈良県立高円高等学校) | 41. 小方 治佳 (奈良県立高円高等学校) |
| 31. 宮川 由奈 (奈良県立高円高等学校) | 42. 山下 真理 (奈良県立高円高等学校) |
| 32. 橋本 優美 (奈良県立高円高等学校) | 43. 杉村 仁 |
| 33. 千葉 麻衣 (奈良県立高円高等学校) | 44. うらはま さひこ |
| 34. 市橋 香織 (奈良県立高円高等学校) | 45. 関西文化芸術学院 高等課程クラフト陶芸専攻 及び、1~3年生の生徒及び、専門学校 関西 文化芸術学院芸術総合学科の学生 |
| 35. 松岡 堯彌 (奈良県立高円高等学校) | 46. 鈴木 正三 |
| 36. 大西 由羽 (奈良県立高円高等学校) | |
| 37. 柳瀬 七海 (奈良県立高円高等学校) | |



27



28



29



32



30



33



36



37



34



35



31



39



40



38



奈良県文化会館
副館長 志茂 佳成

「第6回 燈火と
芸術の森」を盛大に
開催されますこと、
心からお祝い申し上
げます。

この事業は、本館を舞台に、文化芸術を愛し創作する人々にとって新たな作品発表の場を創り出すと共に、人が集い楽しむ場となることを目指すものです。

「なら燈花会」の期間中、つどいの広場や2階情報コーナーにおいて、県内美術系学校の生徒をはじめ先生や作家の方々が制作した彫刻・燈火器・オブジェ等の作品を展示し、夜はろうそくのかやさいの灯りで作品を照らし出して、風情豊かで幻想的な光景が創出されます。

県立高円高等学校並びに関西文化芸術学院の先生・生徒の皆様方、素晴らしい作品をご出品いただいた作家の皆様方など、多くの関係の方々に深く感謝申し上げますと共に、本県の特性を活かした文化芸術の推進にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



奈良県立高円高等学校
校長 上田 泰行

「燈花と芸術の森」
の催しも本年度で6
回目を迎え、奈良の
風物詩として定着し

つつあります。高円高校では、第1回から参加し、展覧会のプランニングや作品の陳列、搬出作業等のお手伝いをさせていただいています。今回、10数点の生徒作品を出品します。展覧会をとおり、社会人の方や文化会館関係者、また、美術作家の方等と交流することができ、生徒にとって、社会と美術の関わりを学ぶ貴重な機会となっています。

一人でも多くの方に、ご来場いただき、楽しんでいただければ、生徒への何よりの励みになると思います。ぜひ、お立ち寄りください。そして、お楽しみください。

関西文化芸術学院 校長 大橋 英夫

「燈花と芸術の森」といえば、古都奈良の夏の風物詩であり、心を癒してくれる優しいろうそくの灯りが思い浮かびます。

そのような「燈花と芸術の森」に私共、関西文化芸術学院のクラフト陶芸専攻の生徒たちが参加できることを大変光栄に思います。生徒たちはこの日のために授業課題の傍ら自分の思いを表現するランプシェードを制作してきました。関西文化芸術学院の心優しい生徒たちが思いを込めた作品が来場される皆様の心を癒してくれることと思います。

生徒たちが作品を発表する機会を頂いたことに感謝するとともに、この「燈花と芸術の森」がこれからもより発展することを願っています。



奈良芸術短期大学
学長 平田 博也

「燈花と芸術の森」
に県内唯一の美術科
のある大学として参
加し、学生の作品を

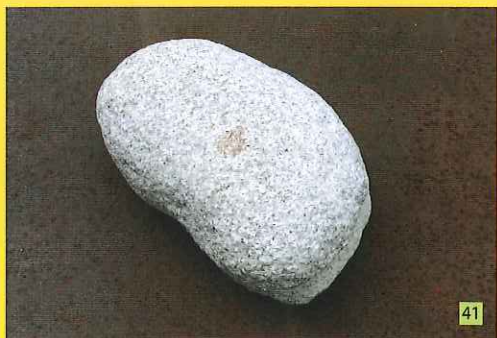
展示出来ました事、大変うれしく思っています。

若い世代の、未熟ではありますが、自由な発想力で表現された作品を、楽しんでいただければ幸いです。

この奈良の地が育んだ自然を肌で感じ、古の伝統文化を理解し、そして、新しい芸術作品を生み出し、益々、活発に多くの人々に発信出来るよう頑張っていきたいと思っています。

ご来場いただいた皆様には、ゆっくりと作品をご覧いただき、ご支援とご批評を頂ければ幸いです。

最後に、実行委員会の皆様には、開催に際し企画準備等お世話になり御礼申し上げます。



41



42



46



12



13



47